

駒の学び舎  
世田谷区立駒沢中学校  
A組 水田 剛  
B組 小嶋 紗代子  
C組 小西 宏子  
D組 角田 孝介

## 第1学年 道徳学習指導案

1 日時 平成26年10月22日（水） 第5校時

2 主題 心のあたたかさ 2-（2）

温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ

3 資料

(1) 副読本 「自分を見つめる」あかつき p.80~84『夜のくだもの屋』

(2) 「心みつめて」東京都教育委員会 p.132『行為の意味』宮澤章二

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

思いやりと感謝は表裏一体のものである。他の人の思いやりを感じ、そのことに感謝し、自らも思いやりの心をもって他の人と接しようとする心情をはぐくむ。

(2) 生徒について

思いやりの心をもって人と接することのできる生徒が多く、助け合って協力し合いながら何事にも取り組んでいる。しかし、思いやりの大切さは分かっているものの、他の人の親切に気付かない生徒や、自分の思いやりの気持ちをなかなか表現できずにいる生徒もいる。

自分はこれまで、そしてこれから多くの人に支えられて生きていくのだということを考えさせ、周りの人々への感謝の念と思いやりを大切にして生きていこうとする心情につなげていきたい。

(3) 資料について

少女は合唱部のコンクールに向けた練習で帰りが遅く、真っ暗な道を帰る日が続く。心細さを紛らわすために歌いながら歩く少女は、ある日からくだもの屋のあかりに守られて帰宅するようになった。

後日、少女はくだもの屋が自分のために営業時間を延長してくれていたことを知った。そのときの少女の感謝の心とくだもの屋の思いやりの心を結び付けて、あたたかい人間愛を感じとらせたい。

(4) 道徳教育の取り組みとの関係について

道徳の時間においては、『おばあちゃんの指定席』『旗』などの資料を用い、2-（2）を年間指導計画に位置付けて重点的に学習している。

生徒会活動において、「生徒会八カ条」を作り、「第1条：いじめ」において「相手の気持ちを考えて、しない、させない、ゆるさない」と毎日の学校生活で思いやりをもって人と接する心をもたせる指導を行っている。

すべての学校行事やすべての日常生活の場面でも、道徳教育の重点である思いやりの心をはぐくむ指導を続けている。

## 5 本時の指導の流れ

【ねらい】 人間はさまざまな善意の中で生きていることを感じ、感謝と思いやりの心をもって生きていこうとする心情をはぐくむ			
	学習活動	発問（○、◎）と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	1 過去の経験から、他の人に親切にしたこと、されたことを思い出す。	<p>○人にやさしく親切にしたことはどんなことですか。親切にされたことでもいいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちに保健室へ連れて行ってもらった</li> <li>・弟の忘れ物を届けてあげた など</li> <li>・電車でお年寄りに席を譲った</li> </ul> <p>○そのとき、どんな気持ちでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役に立っていると思ってうれしかった。</li> <li>・感謝の気持ちでいっぱいになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校では」「家では」「それ以外では」などと場面を設定する。</li> <li>・「したとき」と「されたとき」を分けて板書する。</li> </ul>
展開	資料を読む		<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料は教員が範読する。</li> </ul>
	2 少女のあかりに対する心情を考える	<p>○少女はどうして「あのあかりの恩恵を思うと、もういちどくらい買い物をしなくては悪い気がする」と思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あかりのありがたさを思い出したから。</li> <li>・あかりのお礼をしたい。</li> <li>・お礼としては、父親が買ったリンゴでは足りないと思ったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金での感謝の表し方ではなく、少女の心情の方から考えを深めていく。</li> </ul>
	3 少女がくだもの屋のおじさん、おばさんの思いを知ったときの気持ちを考える	<p>○少女はなぜ「あかりがあんなにあたたかく見えたのは当然だった」と思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知り合いでない私を心配してくれていたことに気付いたから。</li> <li>・おじさん、おばさんのやさしさだったから。</li> <li>・偶然だと思っていたけど、私のためにあかりを付けてくれていたことが分かったから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のために他者が行つてくれたこと思いやりを感じる。</li> </ul>
	4 おばさんの気持ちを考える。	<p>○おばさんはどうして「とんでもない」と笑いながら言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心配したことだから、お礼はいい。</li> <li>・気持ちはいただきました。</li> <li>・買ってほしくてしたわけじゃない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えをワークシートに記入させる。</li> </ul>
終末	5 宮澤章二の『行為の意味』を読み、将来の生き方や課題について考える	<p>○あなたがこれから誰に対してもやさしく接していくために心がけたいことは、どんなことですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず相手の気持ちを察する。</li> <li>・困っている人を助ける。</li> <li>・やさしくしてもらってうれしかった気持ちを今度は誰かに届けたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな意見をすべて認め、励ます。</li> </ul>

6 評価：思いやりの心をもって人と接することの大切さを理解することができたか。  
思いやりや親切な心で人と接したいという気持ちが高まったか。